

## MD研究者育成プログラム参加学生に対する支援

番号	氏名	渡航先	国・地域	期間
1	P. T	Uppsala大学 「12th International workshop on approaches to single cell analysis」	スウェーデン	H31.3.2-H31.3.8

## 平成 30 年度岸本国際交流奨学金による活動実施報告書

－ MD 研究者育成支援事業 －

医学部医学科 6 年

学籍番号 \*\*\*\*\*

氏名 P. T

2019 年 3 月 4-5 日の期間、私はスウェーデンの Uppsala University を訪問し、single cell biology meets diagnostics: 12th international workshop on approaches to single cell analysis と呼ばれる学会に参加しました。私は、膠原病の発症機序や病態形成に興味があり、医学科編入時から継続して、SLE や皮膚筋炎における type I interferon の産生メカニズムを研究してきました。この研究を通じて、疾患の heterogeneity や、それによる研究の障害に気づき、これからは血球などの患者組織を 1 細胞レベルで調べる必要性を感じました。そのことから、近年、急速に発展している single-cell analysis に興味を持つようになり、新しい研究技術をどのように応用したら、患者間の多様性の大きい疾患を理解できるか、考えるようになりました。今回の学会では、現在開発が進んでいる最先端の研究技術について学び、更には、ポスターによる自身の研究発表を通じて、世界各国の研究者から研究アプローチについて意見を聞くことができました。短期間ではありましたが、研究者として明らかにしたい“Big Question”を抱くことの大切さを実感することができ、将来、成し遂げたい目標が少しずつ明確になってきました。最後になりましたが、これまでの研究活動と学会参加を支援して下さった岸本忠三先生と MD 研究者育成プログラム関係者の皆様に感謝の意を表します。